

## 改選後の初の議会、5月臨時議会開催される

京都府議会5月臨時議会は、24日に開会され、28日深夜に会期を29日まで延長したうえで、29日未明に議長、副議長を選出するとともに、監査委員の任命を行いました。

また、議員の所属常任委員会・特別委員会などの決定、「平成10年度一般会計予算の補正」と「地方税法の一部改正に伴う府税条例の改正」の知事専決処分の承諾を行い、閉会しました。

閉会后開催された、常任委員会、特別委員会で、委員会の正副委員長選出しました。

### 「議員団声明」

## 与党による府会役員独占の暴挙を糾弾する

1999年5月29日

日本共産党京都府会議員団

本日の府会本会議で、正副議長・監査委員などの議会役員選挙が行われた。

わが党は、今回の議会役員の選出に当り、議会構成は与野党にかかわらずなく、府民の意思が公正に反映されるよう努めるべきであり、そのためには、先の選挙で示された府民の意思に基づき、第一党・議長、第二党・副議長、常任・特別委員会の正副委員長の議席に応じた公正な配分を各会派に申し入れるとともに、世話人会協議においても主張した。また、監査委員については、汚職・腐敗をなくし、清潔な府政をうちたてるために、蜷川民主府政時代にも、あえて野党の自民党にポストを与えたように、与党が独占すべきではないと主張してきた。

ところが、自民、府民、公明、新政の四会派は、六日間の会期中のほとんどを密室協議に費やし、府会第二党のわが党を排除して、議長に自民党、副議長に府会第三党の民主・府民連合を選出し、知事は議会推薦監査委員について、与党の自民党二名を提案した。そのうえ、常任委員会、特別委員会の正副委員長までも、府会第二党のわが党を全面排除するという暴挙を行った。

このような与党会派の談合は、先の選挙できびしい審判を受けたオール与党による「翼賛体制」を継続しようとするもので、府民の声に背を向けるものである。

わが党議員団は、このような暴挙を厳しく糾弾するものである。わが党は今後、引き続き、「オール与党」による横暴となれあい政治を許さず、公正で民主的な議会運営のため、全力で奮闘するとともに、府民に開かれた府議会とするため、議会の情報公開、委員会の傍聴などの実現に向けていっそう努力するものである。

団声明で糾弾したように、知事与党会派は、府民の選択を反映した公正な議会役員  
の選出を拒否したばかりか、副議長ポストをめぐる醜い駆け引きで、議会を無用に長  
引かせるという暴挙を行いました。

日本共産党京都府会議員団は、このような事態を打開するため、次に紹介する申し  
入れなどをくり返し行い、議会運営の正常化のために全力をあげました。

## 議会構成及び委員会正副委員長の選出にあたっての申し入れ

1999年5月26日

日本共産党京都府議会議員団

団長 西山 秀尚

議員団殿

五月臨時府議会が五月二四日に開会され、議会構成について協議がすすめられてい  
るところです。

議会の構成は、先のいっせい地方選挙で示された府民の期待にこたえ、議会活動の  
活性化をはかり、その役割を十分に果たすことが求められています。そのためにも、  
民意を正しく反映した公正・民主的な役員選出と議会運営は不可欠となっています。

この立場から、わが党はかねてより、議長、副議長の選出にあたっては、第一党・  
議長、第二党・副議長とすること、常任委員会及び、特別委員会の正副委員長は、各  
党派議員数に応じて配分することを主張してまいりました。

また、監査委員については、より透明性をたかめ、府民の信頼にこたえるためにも、  
一名は野党から選出することを求めてまいりました。

ところが、この間は、議長、副議長、監査委員からだけでなく、常任・特別委員会  
の正副委員長からも、府議会第二党の日本共産党を排除して行なわれてきました。

このことは、議会運営にあたっては、公正・民主的に行なう、そのために民意を反  
映した議会構成とするという当然のあり方に反するとともに、議会の府政に対するチ  
ェック機能をも低める要素ともなっています。

したがって、今回の役員選出にあたっては、先の選挙で示された民意を正しく反映し、議長・第一党、副議長・第二党、正副委員長は議員数に基づく配分、監査委員は与・野党から各一名とするよう、貴会派としても努力されるよう、あらためて申し入れるものです。

## 申 し 入 れ

議会構成を決める5月臨時議会も、本日が会期末であるにもかかわらず、まったく空転したまま、経過している。

しかも、わが会派に対しては、空転の原因もまったく明らかにされないまま、密室で協議がすすめられるという異常な事態である。

よって、ただちに、世話人会を開催し、事態の状況を明らかにするとともに、正常な運営となるよう各会派代表による協議を行うことを申し入れる。

1999年5月28日

日本共産党京都府会議員団

団長 **西山秀尚**

世話人会座長

**石田 昂 殿**